


現況検査により認められる状況の記録


令和5年3月3日	
NO	31
場所	A Y 2 通り
部位	基礎型枠 (断熱区画部)
同上。	




令和5年3月3日	
NO	32
場所	A X 4 通り
部位	基礎型枠 (断熱区画部)
A X 4 通りの基礎型枠施工状況。	

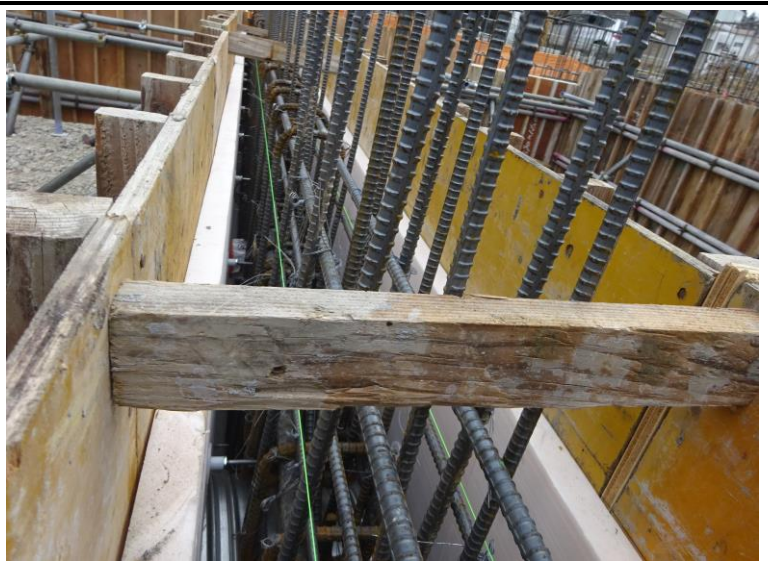



令和5年3月3日	
NO	33
場所	A X 4 通り
部位	基礎型枠 (断熱区画部)
型枠の設置幅が計画 (施工図) 通りであることを確認。(基礎梁: 230mm+増打ち: 10mm×内外+断熱材厚さ: 両側×30mm = 310mm)	


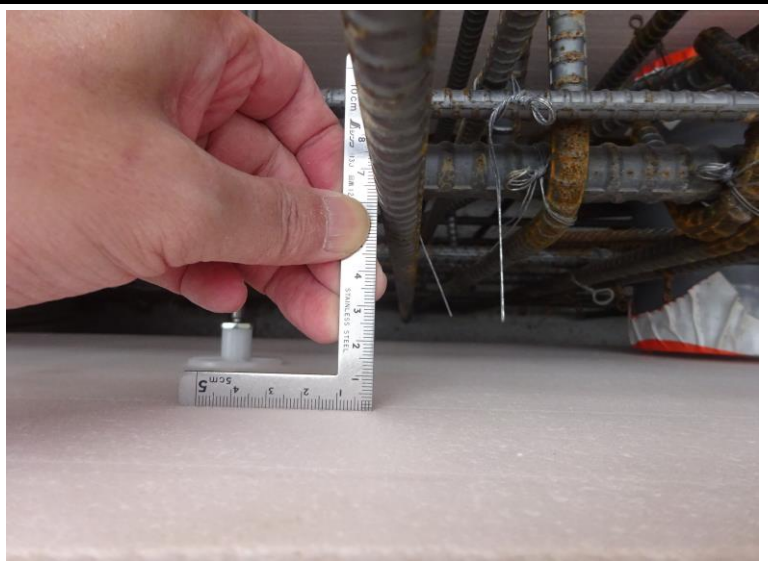



現況検査により認められる状況の記録

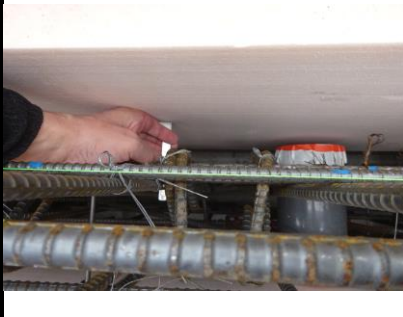
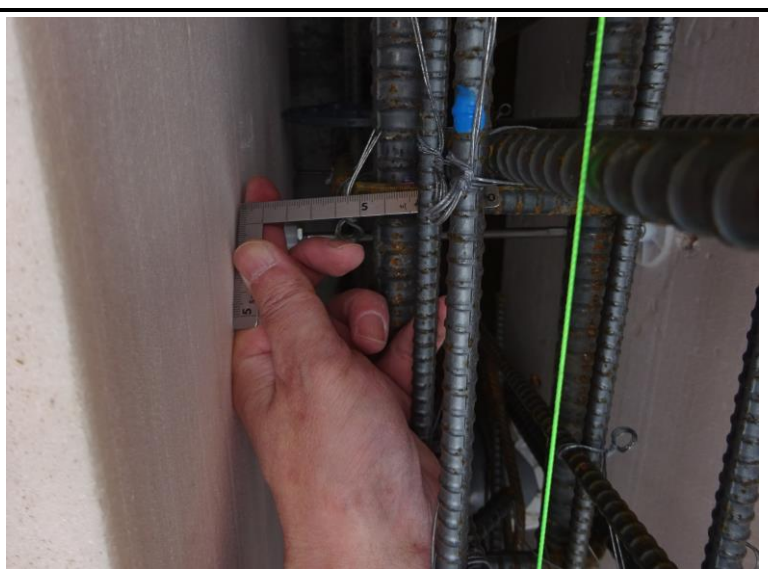
令和5年3月3日	
NO	34
場所	A X 4 通り
部位	基礎型枠 (断熱区画部)
基礎梁の配筋組、及び、型枠が通り良く配置されていることを確認。	

令和5年3月3日	
NO	35
場所	A X 4 通り
部位	基礎型枠 (断熱区画部)
基礎梁側面部分の鉄筋かぶり厚さが適切 (40mm以上) に確保される状況であることを確認。	


令和5年3月3日	
NO	36
場所	A X 4 通り
部位	基礎型枠 (断熱区画部)
同上。	

現況検査により認められる状況の記録

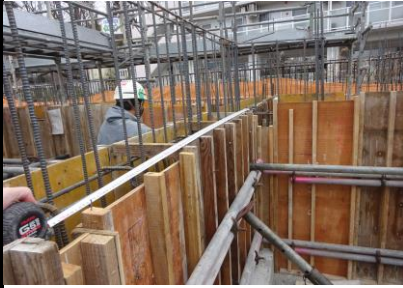
令和5年3月3日	
NO	37
場所	A X 3 通り
部位	基礎型枠 (断熱区画部)

型枠の設置幅が計画 (施工図) 通りであることを確認。(基礎梁: 230mm+増打ち: 10mm×内外+断熱材厚さ: 片面30mm=280mm)




令和5年3月3日	
NO	38
場所	A X 3 通り
部位	基礎型枠 (断熱区画部)

断熱材の施工範囲が計画 (施工図) 通り (AY4の通り芯より2,100mmまでの範囲) であることを確認。




令和5年3月3日	
NO	39
場所	A X 2 通り
部位	基礎型枠


A X 2 通りの基礎型枠施工状況。




現況検査により認められる状況の記録


令和5年3月3日	
NO	40
場所	AX 2 通り
部位	基礎型枠

型枠の設置幅が計画（施工図）通りであることを確認。（基礎梁：300mm+増打ち：20mm×内外=340mm）




令和5年3月3日	
NO	41
場所	AX 2 通り
部位	基礎型枠

壁立上がり筋を束ねる「段取り筋」がコンクリート打設天端下部に入り込み、鉄筋かぶり厚さ（40mm以上）に不足を生じさせていることを指摘。




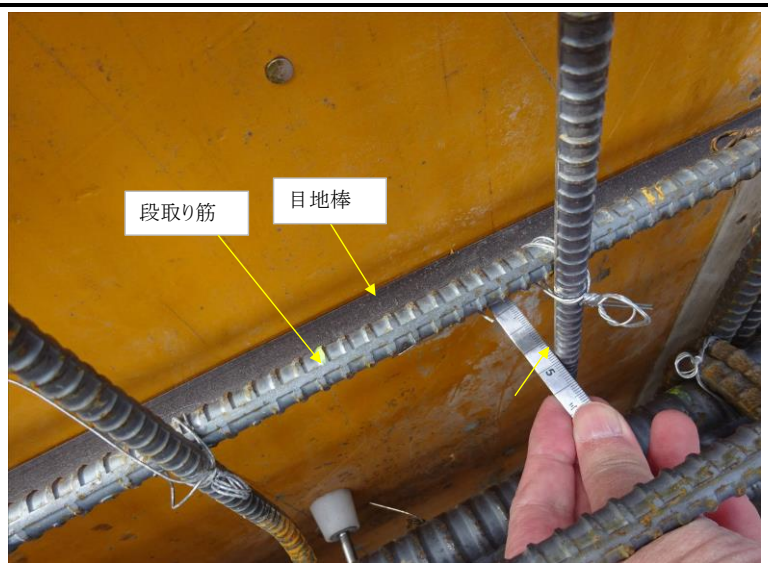

令和5年3月3日	
NO	42
場所	AX 2 通り
部位	基礎型枠

上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。（是正状況）




現況検査により認められる状況の記録

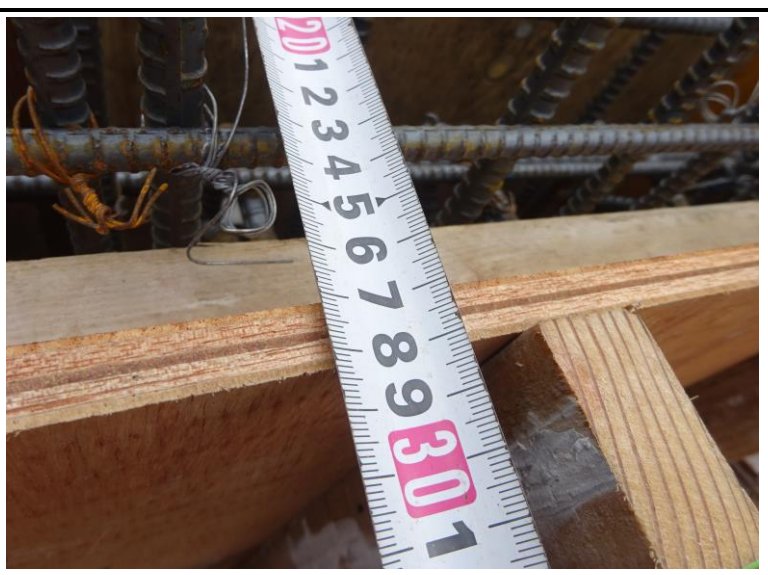
令和5年3月3日	
NO	43
場所	AX 2 通り
部位	基礎型枠
<p>同上。その場にて是正が行われたことを確認済。（基礎梁部のコンクリート打設天端は目地棒の設置レベルまでとなる。手前に見える段取り筋は目地棒より上になり、コンクリート打設後に取り外されることとなる。）</p>	
	



令和5年3月3日	
NO	44
場所	AX 1 通り
部位	基礎型枠
<p>基礎梁の配筋組、及び、型枠が通り良く配置されていることを確認。</p>	
	




令和5年3月3日	
NO	45
場所	AX 1 通り
部位	基礎型枠
<p>型枠の設置幅が計画（施工図）通りであることを確認。（基礎梁：230mm+増打ち：20mm×内外=270mm）</p>	
	



現況検査により認められる状況の記録


令和5年3月3日	
NO	46
場所	AY 6 通り
部位	基礎型枠

AY 6 通りの西側端部の部分では、AX 2 通りと同様に「段取り筋」がコンクリート打設天端下部に入り込み、鉄筋かぶり厚さ（40mm以上）に不足を生じさせていることを指摘。


令和5年3月3日	
NO	47
場所	AY 6 通り
部位	基礎型枠

上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。（栈木を取り外して是正を行っている状況。）

令和5年3月3日	
NO	48
場所	AY 6 通り
部位	基礎型枠

同上。その場にて是正が行われたことを確認済。

現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月3日	
NO	49
場所	A X 2 通り (断熱区画部)
部位	基礎型枠
A X 2 通り (南側) の基礎型枠施工状況。	



令和5年3月3日	
NO	50
場所	A X 2 通り (断熱区画部)
部位	基礎型枠
型枠の設置幅が計画 (施工図) 通りであることを確認。(基礎梁: 300mm+増打ち: 20mm×内外+断熱材厚さ: 片面30mm=370mm)	




令和5年3月3日	
NO	51
場所	A X 2 通り (断熱区画部)
部位	基礎型枠
基礎梁側面部分の鉄筋かぶり厚さが適切 (40mm以上) に確保される状況であることを確認。	



現況検査により認められる状況の記録


令和5年3月3日	
NO	52
場所	A Y 2 通り
部位	基礎型枠 (断熱区画部)
型枠の設置幅が計画 (施工図) 通りであることを確認。(基礎梁: 230mm+増打ち: 10mm×内外+断熱材厚さ: 片面30mm=280mm)	




令和5年3月3日	
NO	53
場所	A X 3 通り (断熱区画部)
部位	基礎型枠
A X 3 通りの基礎型枠施工状況。	





令和5年3月3日	
NO	54
場所	A X 3 通り (断熱区画部)
部位	基礎型枠
型枠の設置幅が計画 (施工図) 通りであることを確認。(基礎梁: 230mm+増打ち: 10mm×内外+断熱材厚さ: 両面30mm=310mm)	





現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月3日	
NO	55
場所	A X 3 通り (断熱区画部)
部位	基礎型枠
基礎梁側面部分の鉄筋かぶり厚さが適切 (40mm以上) に確保される状況であることを確認。	




令和5年3月3日	
NO	56
場所	A X 3 通り (断熱区画部)
部位	基礎型枠
同上。	




令和5年3月3日	
NO	57
場所	AB棟 (共通)
部位	出隅部
外壁面 (打ち放し仕上げ部) の出隅 (ピン角) 部には、計画通りにRAテープが設置されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月3日	
NO	58
場所	A B棟 (共通)
部位	出隅部
同上。	




令和5年3月3日	
NO	59
場所	A B棟 (共通)
部位	出隅部
同上。	




令和5年3月3日	
NO	60
場所	A B棟 (共通)
部位	出隅部
同上。	